

# ”子どもは惇明の宝” ～地域のふれあいの中でのびのび大きく育てほしい～

## 京都府福知山市

活動名

惇明わんぱく村による活動

関係する学校

惇明小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	1人	93人	14年度	無	無	無	有	
学校支援 地域本部	コーディネーター	ボランティア 参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPO との連携	
放課後 子供教室	コーディネーター	子供の平均 参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPO との連携	
			実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携		
コミュニティ スクール			指 定 日		委員数	児童生徒数	学級数	

**活動の概要・経緯**

「惇明わんぱく村」は平成14年に、惇明小学校PTAとそのOB、教職員、婦人会、公民館で実行委員会を組織し運営され、平成24年度からは惇明地区公民館（青少年部）が主体となって小学校と協力しながら事業を実施している。「土曜日は子供達が地域の中で学ぶ時間」ととらえて、学校を会場に子供たちが地域の人たちとふれあう場として、各学期に1回年3回、土曜日の午前中に開催され、家庭・地域・学校の連携の先駆的な取組になっている。

### 特 徴

#### 【特徴的な活動内容】

惇明わんぱく村の活動の特徴は内容が多様なことである。今までに取り組んだ活動は、マンガ、料理、音楽、陶芸、お花、どこいせ福知山踊り、バルーンアート、跳び箱、リズム、ギネスに挑戦長靴とばし、おもちゃ作り、車いすバスケットボール、空手、折り紙切り紙、福知山よさこい連の踊り教室、ギター、ドッチボール、バスケットボール、数字の工作教室、プールなど子供達は多様な体験をしている。

#### 【実施に当たっての工夫】

「子どもは惇明の宝」というスローガンを掲げ、「地域のふれあいの中でのびのび育てほしい」という願いを持って、地域一体となって運営している。各体験活動の講師は惇明地区内で募集し、ボランティアとして運営に携わっていただいている。常に「惇明地区公民館だより」で地域人材のボランティア講師発掘を行うことで、地域住民の理解を得る工夫された取組を継続して実施している。活動は、年2回発行の「公民館だより」に予定と実施風景等を掲載し、マスコミの取材も多く、活動の周知が十分に図れている。

### 事業を実施して

地域の関係者が小学校に集まり、世代間・所属を越えて交流することによって、地域のきずなが深まる場となっている。また、学校も「地域に開かれた学校」を推進する上での中心的事業と位置づけ、教職員の参加、学校だより等での紹介等積極的な関わりがある。子供たちは自分が地域の一人として地域のみなさんに見守られ成長していることを実感できている。（児童の感想等より）

### その他

開始当初は、外部講師を招いたり回数を増やしたりして実施していたが、現在は学校と家庭・地域社会が「ゆるやかに」つながり「いつまでも」継続できる方法である「システム結（ゆい）」（京都府が推進している学校支援体制イメージの呼称）のイメージどおり、地域や学校の担当者等が変わっても継続して開催できるよう開催回数を適正化し、惇明地区内で講師募集やボランティア支援の体制を整えることで、学期1回の開催としている。本年度で14年目の継続開催となった。今後も、目的を共有し、学校・家庭・地域が連携して子供の居場所づくりを推進していく。



「鉄道のまち ぶくちやま」ならではの取組「ミニS.L体験教室」



本格的なサッカー教室 グンゼサッカー部のみなさんと